

1 3 ごみの減量化・再資源化の推進

市では、ごみの排出抑制を図りながら再資源化を進める資源循環型社会の構築に取り組んでいる。ごみの排出量については、広報かとり「ごみのこと考える」により紙類の分別の徹底を呼びかけるとともに、様々な施策の推進により、減量化が図れている。

また、リサイクル率についても香取市循環型社会形成推進地域計画を策定し、平成25年度に佐原清掃事務所内をリサイクル拠点施設として整備し、枝木のチップ化、発泡スチロールの減容化など、資源物活用を推進している。

1 3-1 回収協力奨励金事業

①ペットボトルキャップ回収協力奨励金

実施団体（小中学校など実施団体 27 団体）が行うペットボトルキャップ回収活動に対し、売却金と奨励金を交付し、子供たちへ環境問題の啓発とごみの減量化を推進している。

—平成 26 年度実績

回収量：5022 kg 売却金：54,408 円 奨励金：70,160 円

②再資源化物回収協力奨励金

実施団体（PTA・町内会など実施団体 51 団体）が行う再資源化物回収活動に対し、奨励金を交付しごみの減量化と再資源化を推進している。

—平成 26 年度実績

回収量：1,175,908 Kg （紙類 1,126,978Kg 繊維類 48,930Kg）
奨励金金額：3,527,724 円

1 3-2 資源物の拠点回収

①牛乳パック拠点回収事業

市民から拠点回収（市内 2 箇所）した牛乳パック（飲料用）を市が直接売却し、その売却益で花木等の苗木を購入し、リサイクル活動に積極的に取り組む団体に苗木を寄贈する。

②インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加

インクカートリッジの回収から再資源化までのリサイクル活動を推進するプリンタメーカー 6 社共同プロジェクトとして、全国の郵便局と参加した自治体施設に回収ボックスを設置している。（市内 7 箇所に設置）

—平成 26 年度回収実績：2,090 個（41.8kg）

③使用済小型家電

新たなリサイクルの取り組みとして「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」（小型家電リサイクル法）に基づき、携帯電話などの使用済小型家電リサイクル事業を開始して、小型家電に含まれる金、銅な

どの希少金属のリサイクルに取り組んでいる。

—平成 26 年度回収実績：338.7 kg

④佐原清掃事務所の拠点回収

—平成 26 年度実績：ダンボール (23,055kg) 発泡スチロール (2,060kg)
古紙類 (11,875kg) 衣類 (9,745kg) 飲料用ペットボトル (2,360kg)

1 3-3 バイオマス関連施策の推進

①木質バイオマス（剪定枝）の再資源化

平成 25 年 4 月より家庭や公共施設から発生した剪定枝を、佐原清掃事務所で破碎チップ化し、マルチング材や堆肥の原料として再資源化する事業を開始。チップは市民に無料配布し資源循環を推進している。

—平成 26 年度実績：搬入 75,645Kg チップ配布 34,135Kg

②廃食用油回収モデル事業

平成 25 年 5 月より家庭や公共施設（保育所）から発生する廃食用油を回収し B D F（バイオディーゼル燃料）として再利用する事業を開始した。廃棄物の減量化及び再資源化、地球温暖化防止対策の一環として取り組んでいる。

—平成 26 年度回収実績：1660.8 リットル

③生ごみ（学校給食残さ）の再資源化事業

平成 25 年 7 月より学校給食センターから発生した調理残さや食べ残しをバイオ式コンポストで堆肥化する事業を開始した。堆肥は市民に無料配布し資源循環を推進している。

—平成 26 年度実績：搬入 10,140kg 堆肥配布 4,975kg

1 3-4 エコショップ認定制度

ごみの減量化及びリサイクルを積極的に取り組む市内の小売店を香取市エコショップとして認定し、その取り組みを広く市民に周知することにより、消費者と事業者及び行政が一体となり環境保全、ごみの減量化及びリサイクルを推進する。

—登録店舗数：2 店舗

1 3-5 こども服譲渡会

平成 26 年度より子供服のリユースを推進するためフェスタ開催時に無料で譲渡会を開催している。

—平成 26 年度回収量：274.9 kg